

み地発第 6600 号

平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省道路局長 様

群馬県みなかみ町長 鈴木和雄

(地 域 整 備 課)



今後の道路行政についての意見・提案について

国道企第 37 号平成 20 年 9 月 19 日付け依頼のあった標記について、別添のとおり回答いたしますので宜しくおとりはからいのほどお願いいたします。

記

1, 今後の道路行政についての意見・提案

一式

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

「真意必要な道路」は、国益のため国の政策として整備しなければならぬ道路もあれば、一方、地方道路の多くは地域振興や地域住民の生命財産を守るために必要な道路であり、その地域によって異なる費用対効果では図ることが出来ないものと思われる。

地方は、財政状況も厳しく、まだまだ「真に必要な道路整備」には多額の費用が必要であり、大変苦慮しており、国の支援が必要不可欠であります。国に於いては道路財源を確実に確保していただき地方支援をお願いします。

様式 ①

群馬県 みなかみ町

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

群馬県 みなかみ町 様式 ②

○現状 みなかみ町は平成17年10月に合併し誕生した。町の主たる産業は、農業と水上温泉や猿ヶ京温泉を主とした観光であるが、これらの産業は近年衰退し、人口も合併時24,369人居たが、現在人口は22,968人と激減し、少子高齢化が進んでいる。	○課題 財政事情が大変厳しい中でも、都市計画道路を始めとする道路を整備し、交通安全対策や除雪対策を講じ、住環境の改善を図るとともに、優良企業を誘致し、若者の就労の場を確保することにより人口減少に歯止めを掛け、町の活性化を図る事が急務である。
--	--

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

群馬県 みなかみ町

子供を健やかに産み育てることの出来る環境作りを推進するとともに、誰もが、安心や安全、ゆとりを感じながら、健康で、生きがいをもって暮らすことのできるまちづくりのため、生活基盤である道路整備を推進し、交通ネットワークの充実を図り、町民が経済的にも、精神的にも、ゆとりのある豊かな暮らしが実現できる。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

群馬県 みなかみ町
様式 ④

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	企業立地箇所は、都市計画道路に沿った地域であるため、道路の整備が必要である。	就労の場を確保することにより、若者の定住が図られ人口減少に歯止めが掛けられる。また、町税の増収が見込まれる。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	藤原地区には矢木沢ダムを始めとして4つのダムがあり、その貯水量は3億7千5百万トンあまりで、まさに首都圏2千9百万人の水瓶である。しかし、そこに通じる道路は狭隘な道路しかない。そこで、新たに沼田市より玉原道路の建設が必要である。	首都圏2千9百万人の生命財産を守ることが出来、その経済効果は計り知れないものがある。	
・ ・ ・	一般国道17号三国トンネルは、上越県境にあり老朽化しており、大型車のすれ違いが出来ない。関越トンネルは、危険物搭載車両は通行規制されており、首都圏と新潟を結ぶ最短の道路であり経済効果は膨大である。そこで、安全に通行できる新三国トンネルの開削する必要がある。	中越地震のような大規模災害で、関越道が通行できなくなった場合には、首都圏と新潟を最短距離で結ぶことが出来、その経済効果は莫大なものである。	